第　６８　号
平成２８年１２月号

まな　ｎｅｔ

～教科研究センター便り～

高知県教育センター
教 科 研 究 セ ン ター

【第６８号　目次】

●特集　基礎講座Ⅲの報告
●子どもとのかかわり方
●教育コラム「磨」
●まなｎｅｔの玉手箱
●研修のお知らせ
●冬季閉室期間のお知らせ
●耐震工事による教科研究センター（本部）の閉室について
●耐震工事中の教科研究センター（本部）の出入口について
●速報（１１月の利用者状況）

特集　教科研究センター講座　基礎講座Ⅲの報告

１０月２９日（土）に基礎講座Ⅲ「特別支援教育の視点に立つ授業づくり」が行われ、高知県教育センター特別支援教育担当　堀内教代指導主事が講義・演習を行いました。和やかな雰囲気の中、活発な意見交換も行われ、演習を通して体験的に実感を伴いながら学ぶことができました。

講義・演習１「学習を支援する環境の整備について考えてみよう」では、受講者の方が持参した板書の写真やノートを用いて、分かりやすい板書とはどのような板書であるかアイディアを出し合い、板書のポイントを確認しました。

講義・演習２「肯定的な注目を活用しよう」では、「ほめる」ことは、「子どもを評価することではなく、子どもの頑張りや成長を見つけて、その喜びを伝えること」「子ども自身が肯定的で現実的な自己イメージをつくるための助けとなる方法」であることを確認し、ほめ方のコツや具体例などについても確認しました。

講義・演習３「ユニバーサルデザインを取り入れた指導や支援の工夫を知ろう」では、学習のユニバーサルデザイン、アコモデーション（学習を支援する環境整備）等について確認しました。

「実際に教員として働かれている方の板書や授業での工夫を教えていただき、自分にはない視点やアイディアがあったので活用したいと思いました。」、「私がこれまであまり意識していなかったことを学び、また現場でどのような効果が得られるのかを体験的に学べました。」、「様々な支援が必要な中で、全員同じ支援をするのではなく、選択肢を与えるために幅広い支援をすることが大事だと感じました。」といった感想が寄せられました。

子どもとのかかわり方

「気になる欠席」をする子どもたちに・・・

子どもたちは、病気や怪我などの理由で学校を欠席します。しかし、欠席が長期に続くと不登校の兆候ではないかと考えます。

友人関係のもつれや勉強・進路の悩みがストレスとなり、不登校傾向につながった子どもと真摯に向き合い、家庭訪問を繰り返し、対応してきました。

家庭訪問では、「図書館の本を、一日一回借りに学校に来て。」、「つまずいた自分を信じて、ゆっくり、ゆっくり勉強して大人になろう。」、「失敗もたくさんしていいから。」、「先生は、あなたの味方。仲間が待っているよ。」などの言葉がけをし、ありのままの子どもの姿を認めてやると、だんだんと登校を始めることができだしました。

学校へ登校を始めだしたら、「おはよう」の挨拶だけを一カ月間繰り返すだけ。だんだんと表情が和らぎ始めた頃に、「教科は何が好き。じゃあ、一緒に数学の勉強をしようか・・・」など、ゆっくりと学習への意欲づけをしていきました。

子どものありのままの姿を認め、不安を和らげる言葉がけによって、心に様々な悩みや痛みを持っている子どもたちとの心理的距離を縮めていきました。

磨

教育センターの年間計画

高知県教育センター　企画調整部　企画調整担当チーフ　藤田　優子

高知県教育センターでは、教職員及び保育施設職員を対象に、教科指導力の向上および資質指導力の向上を目指して、次の４本を柱として研修を実施しています。

1　ライフステージを踏まえた教職員等の研修
2　喫緊の教育課題へ対応した教科・領域研修
3　指導教員、指導主事等（メンター教員）育成のための研修
4　教員の自主的な学びを支援する　「教科研究センター」

前年度には、対象者やテーマごとに研修のねらいと内容を設定し、文部科学省から発信される情報や高知県の教育課題をふまえて、中長期の計画に基づき、研修の内容を検討します。そして「年間を通して身に付けさせたい教員の指導力」を見据えて年間計画を立てています。

今後、次期学習指導要領の改訂が予定され、校種によりそれぞれ実施時期が計画されています。（小学校は平成 32 年度、中学校は平成 33 年度に全面的に実施、高等学校は平成 34 年度から年次進行で実施。また、次期幼稚園教育要領は、平成 30 年度から実施が予定されています。）

教育センターが年間計画を立てる際には、このような国の教育改革の動向を把握するとともに、平成 28 年３月に策定された「第２期高知県教育振興基本計画」に掲げた施策の進捗状況等を点検・評価しています。

まなｎｅｔの玉手箱

後悔先に立たず

中部教科研究センター　指導アドバイザー　井上　美保

２番目の赴任校は、音楽で有名になった鏡村立第二小学校でした。その頃、鏡村(現在の高知市鏡)には４つの小学校がありました。それぞれ特色を持った学校経営がなされていました。第一小学校は国語、第三小学校は理科、第四小学校は作文教育でした。今は、統合になって鏡小学校として存続しています。

当時の鏡第二小学校は、「音楽の節づくり」として、作詞作曲を中心に児童は学習していました。週１時間クラブ活動として、全校音楽を行っていました。幼稚園も併設していましたから、その時間は４・５歳児も一緒に参加し、小学生のすることを見たり聞いたりしていました。

私が赴任して、初めてその全校音楽の授業を見たときの驚きは衝撃的でした。児童は、私が作った詩にリコーダーで、あっという間に曲をつけました。そして、演奏したとおりに別の児童が黒板に採譜していくのです。そして、みんなでリコーダーや鍵盤ハーモニカで演奏したり、歌ったりしました。それから、曲に小節ごとに和音をつけリコーダー、オルガン、木琴、鉄琴、打楽器等を使って合奏にまでしてしまったのです。小学生でこんなことができるのかと心底感心しました。それは、幼稚園のころから、ずっと音を聞いてきたので自然と音階が分かるようになってきているのと、指導を継続していく力だと思いました。

私はといえば、音楽は得意ではありませんし、ピアノもそこそこにしか弾けません。私で勤まるだろうかと不安な気持ちで一杯になりました。

県内外からは、多くの方々が、研修に訪れ、そのたびに詩を書いていただいて、曲を作り演奏したことでした。そして、父の日、母の日、敬老の日と行事のたびに、児童は作詞作曲してみんなの前で発表し、担任は伴奏しました。大勢の保護者や地域の方々の前でとても緊張したことをいまだに思い出します。電子オルガンで伴奏していましたので、使ったことのなかった私は、少し習いに行きましたが、足と手の両方を使っての演奏に悪戦苦闘しました。本当にかじっただけだったので、ちっとも物になりませんでした。それからずっと反省しています。置かれた立場の時に、何事にものめり込むぐらいに一生懸命やっておくと、後悔のない人生になると、今、思っています。

研修のお知らせ

≪これからの講座開催予定≫

◆基礎講座　＜基礎講座Ⅴ＞ 講義・演習「授業づくりで大切にしたいことⅡ」
１月　２８日（土）　教育センター分館
２月　　４日（土）　幡多総合庁舎

冬季閉室期間のお知らせ

平成２８年１２月２３日（金）～　平成２９年１月３日（火）

上記期間中、教科研究センター（本部・支部）は閉室します。

耐震工事による教科研究センター（本部）の閉室について

平成２９年２月１日（水）～６月３０日（金）まで、教科研究センター（本部）は閉室します。

＊閉室期間中は、一部機能のみを別室にて行う予定です。
詳細は後日お知らせします。

耐震工事中の教科研究センター（本部）の出入口について

●教科研究センター（本部）
耐震工事にともない、館内に通行制限があります。
また、土曜日は出入口が南東一箇所ですので、よろしくお願いします。
http://www.kochinet.ed.jp/studycenter/entrance.pdf　に掲載しています。

速 報

教科研究センター（本部・東部・中部・西部）

１１月の利用者状況　　658名

◆◇ご利用ありがとうございました◇◆

教科研究センター（本部）	高知県教育センター本館２階（高知市大津乙１８１）	TEL/FAX　088-866-3903
東部教科研究センター	安芸総合庁舎４階（安芸市矢ノ丸１－４－３６）	TEL/FAX　0887-34-8051
中部教科研究センター	中部教育事務所１階（吾川郡いの町枝川２４１０－７）	TEL/FAX　088-893-6597
西部教科研究センター	幡多総合庁舎３階（四万十市中村山手通１９）	TEL/FAX　0880-35-6251

★ **開室時間は次のとおりです。ご利用をお待ちしています。**

開室時間：平日 15:00～19:15　**土曜　10:00～16:00（土曜日の時間はH26.4月より変更しています）**
教科研究センターホームページアドレス　http://www.kochinet.ed.jp/studycenter